

## 政治は誰のためのもの？

### 参議院選挙を考える

第25回参議院選挙が7月4日に公示され、選挙戦が闘われています。今回の参議院選挙では、憲法、年金、増税、原発、労働法制など私たち働く者にとって重要な問題が争点になっています。そこからこれまで自公政権が行ってきた政策についての是非が問われることとなります。

自公政権では、様々な法律が作り替えられましたが、まだ施行されたものはほとんどありません。安保法が成立させられた今、今回の参議院選挙で憲法改正発議できる、いわゆる改憲勢力が2/3を取れば、戦争に加担する状況になっていくことが考えられます。それらのことを見据え、政治が誰のものかを考えることが必要です。

#### 消費税で見ると・・・

若者ほど消費税増税は仕方ないと考えている人が多いと言われています。それは、少子高齢化が進み自分たちの年代は年金があるのかもわからない中で、予算がないなら上げるのも仕方ないという事ようです。

しかし、この間の政府政策は、消費税を上げ、企業の法人税を下げ続ける事で企業を儲けさせるという政策でした。そうすれば、企業が賃上げを行い労働者におこぼれが回る（トリクルダウン）という事でした。

現実には、企業は史上最高の利益を上げましたが、賃上げはわずか。労働法制改正で作られた非正規労働者は、まったく恩恵を受けず、増税と物価上昇で更に大変になっています。

#### 経済で見ると・・・

アベノミクスの失敗を覆い隠すように、今年度の国家予算は史上最高額となっています。金はありませんから赤字国債の発行によって予算を確保する状況です。結果、安倍政権の時には良くても、数年から数十年後には借金地獄で国民が苦しむ状況にされることが考えられます。それらのことを見ながら、どの候補者、政党に投票するかを決めることが必要です。

### 参議院選挙の仕組みはどうなっている？

現在の参議院議員は、比例代表選挙と選挙区選挙によって選ばれています。比例代表制とは各政党の得票率に応じて議席数を配分する制度です。2001年から参議院選挙は「非拘束名簿式比例代表制」になっています。

「非拘束名簿式比例代表制」では、有権者は、政党名か名簿に掲載されている候補者個人名のどちらかに投票します。各政党の議席数は政党名と個人名の得票数の合計に応じて配分され、当選者は個人名の得票数が多い順に決まります。

参議院は、定数が248名。任期は6年となっており、3年ごとに半数が改選となります。ですから今回は半数の124名が議席を争うことになります。

### 衆議院選挙との比較

	参議院	衆議院
解 散	なし	あり
任 期	6年	4年
選挙区と比例代表の重複立候補	×（比例復活なし）	○（比例復活あり）
比例代表	非拘束名簿式	拘束名簿式
比例ブロック	全国	11ブロック
比例の投票方法	政党名	政党または候補者名

## 私たちは国労を選びました！



労基法って何？ 36協定って何？ 組合って必要？  
一緒に学習し、働きやすい職場を作りましょう！

## 社友会は誰のためにあるの？

昨年の3月以降、各職場で社友会が立ち上げられました。会社は、社友会は各職場で自主的に作られたものと話していますが、会費無料、社員の交流と親睦を図る、過半数代表選の機能的役割など、どこも同じ規約になっています。親睦と交流とは裏腹に、職場によっては組合加入者は入会できないという規約のところが多くあるようです。

管理者から言われて加入したけれど、「強制的な飲み会」などA労組と変わらないと、退会する社員も出てきています。

### 加入者の声



入社した時にはA労組に入れと言い、2年後にはA労組を辞めると言う管理者は信頼できませんでした。会社が、働く人を守るための労働組合を否定するのもおかしいと感じていました。職場を良くする国労の取り組みを見て、自分で国労加入を決めました。  
(プロ採用 3年目)

最初に駅に配属され、無理に加入させようとするA労組の対応に疑問を感じ、対応の良かった国労に加入しました。今は後輩の未加入者や新入社員に仕事を教える立場になり、国労でも頼りにされる事を誇りに仕事をしています。  
(プロ採用女性 5年目)

新しいチラシ届きました！



## 7月21日は 参議院選挙の投票日！

仙台地本では比例区で社民党  
「吉田ただとも」を推薦しています

### あなたはどう思う？

東芝100%子会社が原発などの失敗により、人員削減のために希望退職を募ったものの、退職に応じない社員の部署を変更し、単純作業をさせている。社員は追い出し部屋と反発というニュースが報道されました。

そのニュースに対して、SNSでは、「企業にしがみつくと労働者の行く末」「企業に安定を求めるのは時代遅れ」「自分自身の価値を高めれば、企業にしがみつくとことはない」と労働者を批判する意見が紹介されていました。



一方、「誰でも年を取る。それを許していいのか」「失敗のツケが社員に押し付けられるのはおかしい」「安倍首相が労働環境が良くなったと言っているがそういう社会を作り直すべき」という意見も多い。あなたはどう思いますか？

### ○今後の日程

- 7月21日 参議院選挙投票日
- 7月26日 分会暑気払い（田なか屋仙台駅前店）
- 7月30～31日 定期全国大会（伊東）
- 8月23～24日 東日本本部定期大会（東京）

